

3大コ第 15号
令和3年12月28日

大学コンソーシアム香川
各総会委員 様

大学コンソーシアム香川
会長 末吉 高明

大学コンソーシアム香川令和3年度第2回総会
(書面による議決) について

日頃より、大学コンソーシアム香川の事業にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和3年度補正予算及び令和4年度の組織再編に向けた準備行為について、規約第11条に基づき、書面により総会を開催し、議案に対するご意向を別紙回答書にご記入の上、返送いただきますようお願いいたします。

記

1 議題

■議案(1) 令和3年度補正予算について

資料1

令和4年度の組織再編後の新たな取組みの検討に資するよう、令和3年度に企業、高校生とその保護者、市町、大学生等に対し、大学等に関する現状のニーズ等について調査を行う。そのため、当該調査に係る調査会社への調査業務の委託に要する経費(委託料)を補正予算とすることについてお諮りするもの。

なお、委託業者の選定については、3者以上から見積書を徴した上で、最低価格の見積書を提出した者と契約を締結することとする。

■議案(2) 令和4年度の組織再編に向けた準備行為について

資料2

大学等と地域との関係強化を図るため、令和4年度から大学コンソーシアム香川に産業界、金融界、市町等に参画いただき、地域課題の解決等、大学コンソーシアム香川での新たな取組みを検討する部会を設置する。併せて、大学コンソーシアム香川と「学生の香川県内定着プロジェクト(通称「COC+NEXTかがわ」)とを統合し、組織再編を行う。そのため、参画いただきたいと考える関係者(香川県商工会議所連合会、香川経済同友会、香川県商工会連合会、香川県中小企業団体中央会、香川県銀行協会、県内8市9町等)への再編後の組織への参画の依頼等、組織再編の準備行為を行うことについてお諮りするもの。

2 今後の予定

- 令和4年1月 補正予算及び再編準備行為についての総会議決後、ニーズ調査委託契約及び再編後新たに参画を依頼する団体との調整
- 2月 第2回運営委員会（令和4年度当初予算、事業計画）
- 3月 総会（令和4年度組織再編及び規約改正について審議）
ニーズ調査結果納品
- 4月 新体制によるニーズ調査結果を踏まえた取組みの検討
- 7月 総会（令和4年度新体制での取組み及び予算について審議）

3 回答期限

令和4年1月7日（金）

【提出・問合せ先】

大学コンソーシアム香川
（香川県政策部地域活力推進課内）
久保 TEL 087-832-3105

大学コンソーシアム香川会費（案）

1. 令和3年度補正予算に係る会費については、ニーズ調査委託業務に要する経費をもとに算定し、次の表に記載の額とする。なお、県負担分に香川県立保健医療大学の会費を含むものとする。

構成員の名称	会費
香川県	3,990 千円
香川県立保健医療大学	—
香川高等専門学校	190 千円
香川大学	190 千円
香川短期大学	190 千円
四国学院大学	190 千円
せとうち観光専門職短期大学	190 千円
高松大学・高松短期大学	190 千円
徳島文理大学	190 千円

（50 音順）

（参考）令和3年度当初予算に係る会費（既に支払済みの額）

構成員の名称	会費
香川県	400 千円
香川県立保健医療大学	—
香川高等専門学校	200 千円
香川大学	200 千円
香川短期大学	200 千円
四国学院大学	200 千円
せとうち観光専門職短期大学	200 千円
高松大学・高松短期大学	200 千円
徳島文理大学	200 千円

（50 音順）

大学コンソーシアム香川会費に関する規則（案）

第1条 この規則は、大学コンソーシアム香川規約（以下「規約」という。）第14条第1項に基づき、会費に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 会費は、大学コンソーシアム香川（以下「コンソーシアム」という。）の事業活動に必要な費用に充てるものとする。

第3条 会費の額については、事業内容等に応じて、毎年度、総会の議決を経て、事務局から規約第4条に定める者（以下「構成員」という。）に通知する。

第4条 事務局は、構成員に会費の請求を行い、構成員は、指定された期日までに会費を納入するものとする。

第5条 事務局は、納入された会費について、直ちに会費台帳（別記様式）に記載し、その経過を明らかにしなければならない。

附則

この規則は、設立総会においてコンソーシアムの設立が議決された日から施行する。

附則

この規則は、令和3年6月11日から施行する。

地域における大学等に関するニーズ調査について

1 ニーズ調査の目的

産学官で今後のビジョンを共有し、共創による取組みを行うため、現状のニーズ等を調査する

- ・大学等及び企業各主体が変革するため、現状と課題を把握する
- ・若者に選ばれる大学等及び企業となるための新たな取組みのためのデータ収集を行う
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響も踏まえた地域のニーズの把握を行う

2 調査対象と調査内容の方向性

- ①産業界 20,000 社 ⇒ 今後のビジョンを踏まえ、どのような人材を求めているか
- ②高校2年生 8,200 人 ⇒ 大学等にどのような教育を求めているか
大学等卒業後どのようなキャリアを考えているか
- ③高校2年生の保護者 8,200 人 ⇒ 大学等にどのような教育を求めているか
子どもについて大学等卒業後どのようなキャリアを考えているか
- ④県内市町 17 自治体 ⇒ 今後のビジョンを踏まえ、どのような課題があるのか
大学等との連携に何を求めるか
- ⑤県内大学生・短大生・高専生 11,000 人 ⇒ 所属する大学等の満足度。どのような教育研究を求めているか

3 調査方法

調査会社へ委託し、インターネットによる実施を予定
調査項目は大学コンソーシアム香川で決定する

4 委託期間・委託料

令和4年1月～3月

委託料 5,320 千円

県負担 (3/4)

3,990 千円

7 大学等(保健医療大学を除く)負担

各 190 千円

5 調査項目

①産業界

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響も踏まえた、経営に関する課題認識や、今後の取組みの意向
- ・企業が直面する課題(人手不足、後継者不足、従業員人材育成、DX・グローバル化への対応等)
- ・採用にあたり重視する能力(専門知識、論理的思考力、デジタルに係る基礎知識、語学力等)
- ・社員に修得・向上を期待するもの(リーダーシップ、情報・データ分析力、デザイン思考等)
- ・大学等でのリカレント教育で求める分野(経営、IT、語学、観光等)
- ・大学等と共同で行いたい取組み(課題解決、共同研究)
- ・県内大学等の課題や改善した方がいい点

②高校生③保護者

- ・進学、就職等を希望する地域
- ・卒業後希望する進路
- ・高校在学中に学びたいこと（大学等の授業科目、教養、社会の課題等）
- ・進学を希望する学部・学科
- ・大学等に進学する理由
- ・大学等に期待する教育等（専門的教育、幅広い教養、多様な交流機会等）
- ・県内大学等に期待すること（専門的教育、幅広い教養、多様な交流機会等）
- ・県内大学等がどう変われば進学を考えるか（教育プログラム、就職実績、学費支援等）
- ・進学先を選ぶ際に重視する情報（高校の進路指導、大学のHP、先輩や友人の情報等）
- ・大学等を卒業後、どのような職業に就きたいか
- ・県内大学等の課題や改善した方がいい点
- ・将来的に県内企業に就職したいか
- ・就職先を決める際重視すること（仕事のやりがい、社会貢献度、給料、休暇制度、福利厚生等）
- ・県内企業への就職を希望しない理由（仕事のやりがい、社会貢献度、給料、休暇制度、福利厚生等）
- ・新型コロナウイルス感染拡大が進路選択に影響があったか

④県内自治体（市町）

- ・市町が直面する課題（人口減少対策、観光振興、防災減災、医療介護体制充実等）
- ・新型コロナウイルス感染拡大に関する課題（医療提供体制、社会活動の回復、DX等）
- ・どのような分野で大学等と連携していきたいか（人口減少対策、観光振興、医療介護体制充実等）
- ・連携を希望する具体的な取組みは何か（課題解決、共同研究）
- ・社会人に対するリカレント教育等、大学等に期待する教育（リーダーシップ、デザイン思考等）
- ・市町としてどのような人材を採用したいか（専門知識、論理的思考力、語学力等）
- ・地域にはどのような能力を持つ人材が必要か（リーダーシップ、デザイン思考等）

⑤県内大学生、短大生、高専生

- ・現在の大学等に進学した理由（偏差値、学費、場所、教育内容、部活、家族や先生の薦め等）
- ・卒業後に就きたい職業
- ・卒業後香川県での生活を希望するか。また、その理由
- ・将来的に県内企業に就職したいか
- ・就職先を決める際重視すること（仕事のやりがい、社会貢献度、給料、休暇制度、福利厚生等）
- ・県内企業への就職を希望しない理由（仕事のやりがい、社会貢献度、給料、休暇制度、福利厚生等）
- ・進学先を選ぶ際に重視する情報（高校の進路指導、大学等のHP、先輩や友人の情報等）
- ・自分の大学等の長所と短所（施設、教員、講義科目、学生の意欲等）
- ・県内大学等に期待すること（専門的教育、幅広い教養、多様な交流機会等）
- ・新型コロナウイルス感染拡大が進路選択に影響があったか

大学コンソーシアム香川の新たな取組みの方向性について(案)

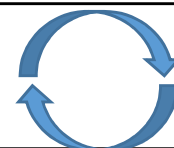
令和3年12月

香川県政策部地域活力推進課

大学の機能

(教育基本法第7条)

- ・学術の中心として、高い教養と専門的能力を培う → 「教育」
- ・深く真理を探究して新たな知見を創造 → 「研究」



これらの成果を広く社会に提供 → 「社会貢献・地域貢献」

現状と課題

「地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン」(令和2年10月 文部科学省高等教育局)

- 人口減少、高齢化、デジタル化の進展、分散型社会への転換といった劇的な変化の中、**教育界、行政、産業界等の多面的な連携に基づき、地域社会のニーズを踏まえた質の高い教育機会の確保と高い能力を持った人材育成に取り組むことが今以上に必要。**
- 地域の課題は非常に複雑で困難なものも多く、絶えず変化していくもので、大学等や産業界等それぞれの立場からのみで地域課題の解決やイノベーションを創出することは限界になっている。

(大学等に期待される役割)

- ・大学等は地域社会において活躍する人材を育成し、**地域経済・地域社会を支える基盤としても重要な様々な機能を持つ存在。**
- ・地域の「知」の拠点としての大学の「知」が、**地域社会のニーズや地域課題に対して還元される仕組みを構築することが極めて重要。**

新たな取組みの方向性(案)

目指すべき方向性

- (大学等) **質の高い教育機会の確保による人材育成。研究の社会実装化の可能性増。共同研究による大学発ベンチャーの創業等。**
➢ 結果として、**大学入学者の増や優秀な学生の獲得。**
- (産業界等) **求める人材の確保。** ➢ 結果として、**優れた人材の定着。**
共同研究等による地域産業の振興等。
- (地域社会) **地域課題の解決。地域活性化。地域の大学等の魅力向上と活性化の実現による、若者の流出防止、地域社会の維持、人材の確保等。**

大学と地域との関係強化が必要

産学官金の恒常的実質的議論の場を構築

- ・**産業界や金融界、市町等が大学コンソーシアム香川に構成員として参画。**
- ・大学コンソーシアム香川に「進学・教育」「就職・産業振興」「地域貢献」部会を設置。
- ・部会において**地域の課題やニーズを調査し解決する取組みを検討する。**

具体的なテーマ例

当面具体的な議論のテーマは人材育成の観点に絞り、「リカレント教育」「**高大連携事業による学びの高度化**」等を想定。

県内大学の今後の連携の在り方について(案)

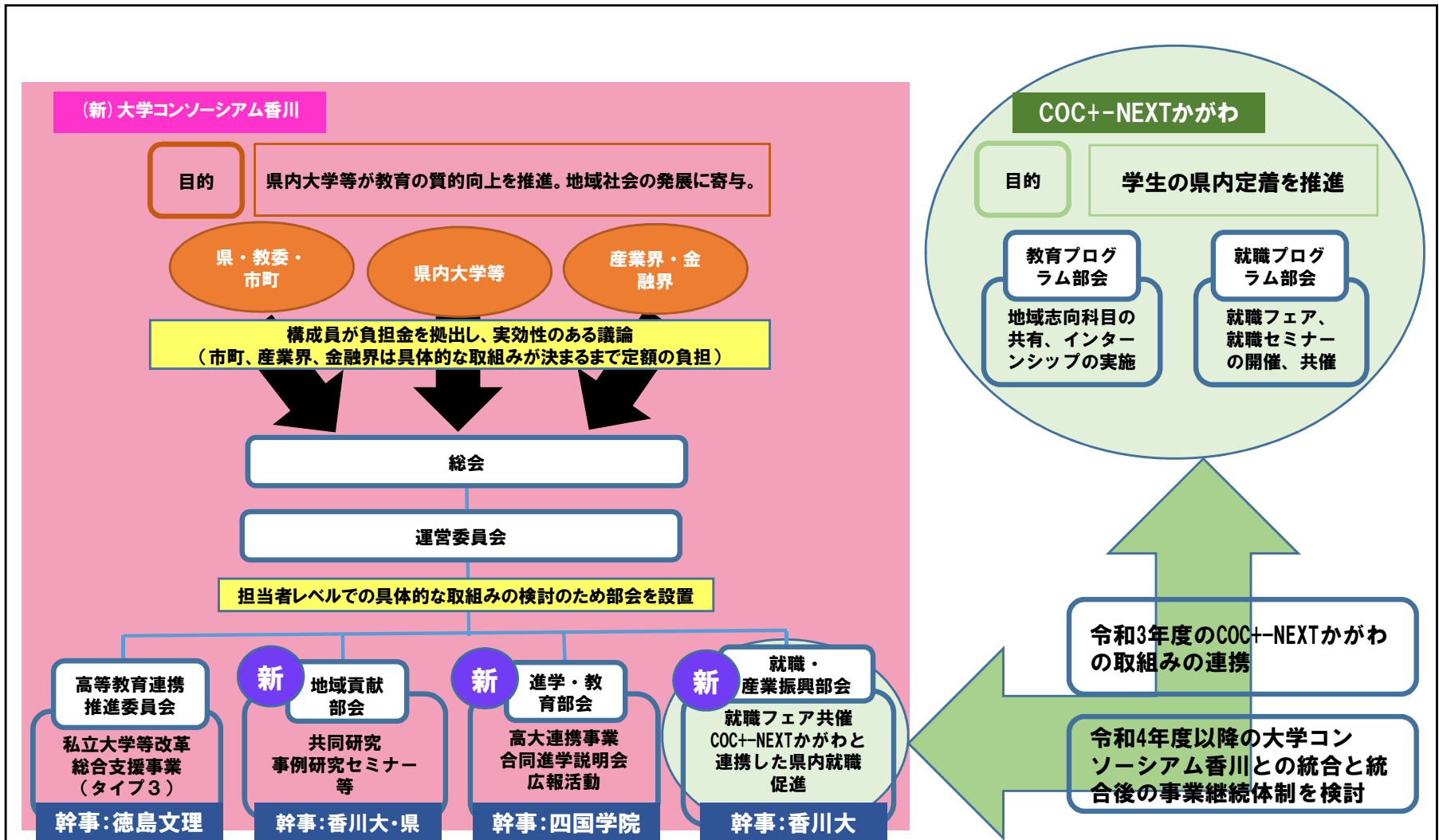
令和3年12月

香川県政策部地域活力推進課

方向性

- ・大学と地域との関係強化のため、大学コンソーシアム香川に産業界、金融界、市町等が構成員として参画。
- ・大学コンソーシアム香川に高校生の県内進学に係る「進学・教育部会」と県内就職等に係る「就職・産業振興部会」、地域課題の解決等新たな取り組みについて議論する「地域貢献部会」を設置。
- ・令和3年度においては、COC+-NEXTかがわと大学コンソーシアム香川との情報共有・連携を図るとともに、令和4年度以降の統合と事業継続体制を検討。

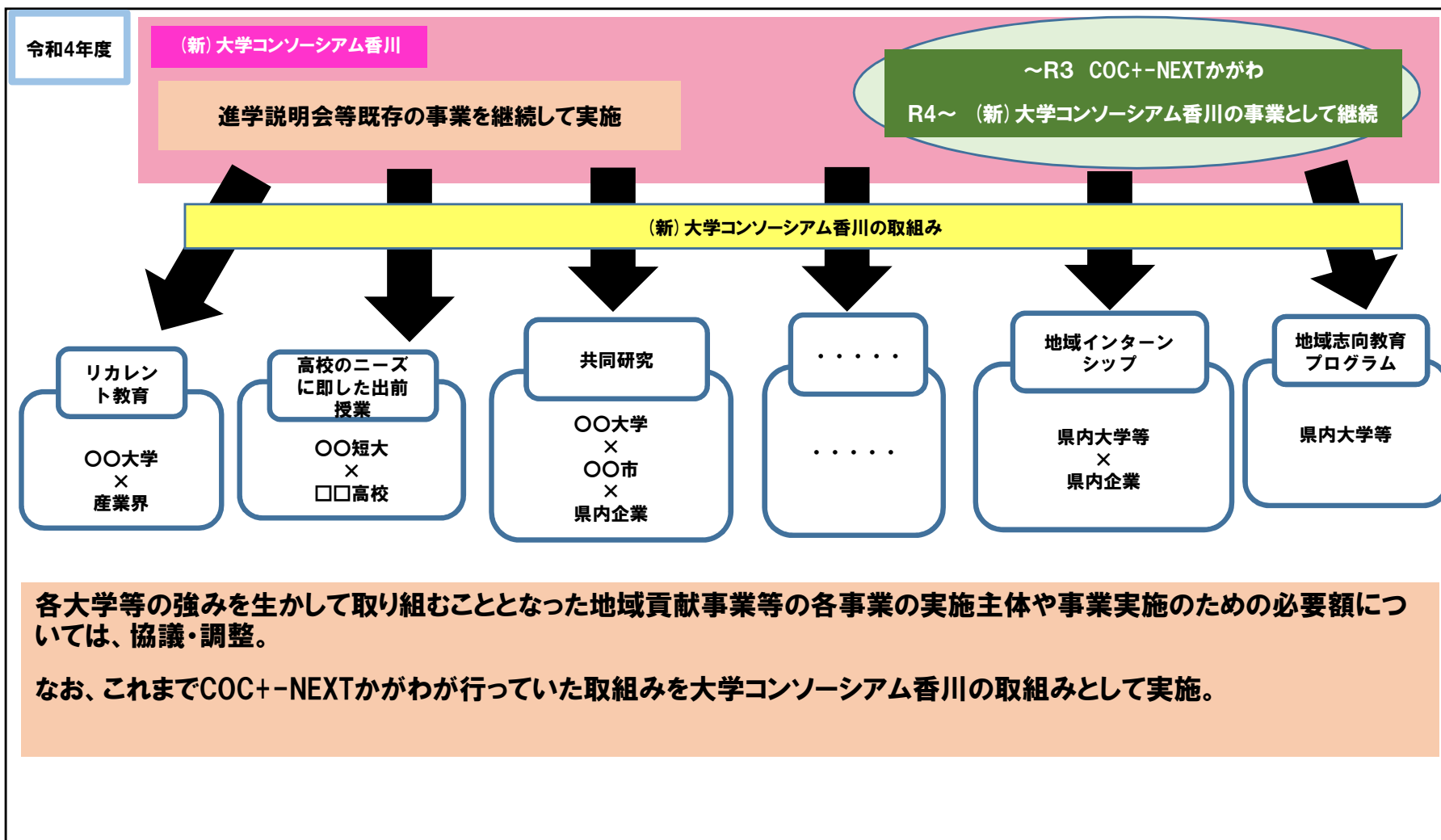
今後の連携体制



県内大学の今後の連携の在り方について(案)

令和3年12月
香川県政策部地域活力推進課

今後の連携体制



まとめ

大学コンソーシアム香川において、各大学等が地域課題等について議論する場の設置による、地域との接点を踏まえた各大学等の取組みを促進し、「大学等の教育の質の向上」、「地域が求める質の高い人材の育成」、「大学の知を活用した地域貢献」による大学等の魅力向上を通じた県内進学率や、県内就職率の向上をめざす。